

# エネルギー政策

田中 修

## はじめに

4月18日、李克強総理は国家エネルギー委員会第1回会議を開催し、エネルギー発展における関連戦略問題と重大プロジェクトを検討・討論した。会議には張高麗副総理、楊晶國務院秘書長、万鋼科学技術部長、周小川人民銀行行長、徐匡迪前工程院院長も出席した。以下は、李克強総理の講話の概要である（2014年新華網北京電4月20日）。

エネルギーは現代化の基礎・動力である。現在、世界政治・経済構造は深刻な調整期にあり、エネルギー需給関係は深刻に変化し、エネルギーはなお政治・金融・安全ゲームの焦点となっている。エネルギーの供給と安全は、わが国の現代化建設の全局に関わるものである。

党中央・國務院の各政策決定・手配を全面的に実施し、発展を第一の重要任務とすることを堅持し、科学的発展を主題とし、現在に立脚し、深謀遠慮により、積極的に成果を挙げなければならない。1人当たり資源水準が低く、エネルギー構造が不合理であるというわが国の基本国情・「アキレス腱」に対して、エネルギーの生産・消費方式を変革し、エネルギーのグリーン・低炭素・スマートな発展水準を高めなければならない<sup>1</sup>。スモッグ等の汚染に対し宣戦し、生態環境保護を強化した排出削減措置を実施し、大気の質の改善を促進しなければならない。クリーンで、効率が高く、安全で、持続可能なエネルギー発展の道を歩み、経済の安定成長のために支えを提供しなければならない。

わが国は発展途上国として、「新しいタイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化」が深く推進され人民の生活が改善されるに伴い、将来一時期エネルギー需要はなお増大することになる。

国内に立脚し、エネルギー供給能力の増強に力を入れ、陸上・海洋の石油・ガス探査・開発を強化しなければならない。体制メカニズムを刷新し、シェールガス・シェールオイル・炭層ガス・タイトガス等の非伝統型の石油・ガス資源の開発を促進しなければならない。国際協力を強化し、質の優れたエネルギーの保障水準を高め、開放構造の中でエネルギー安全を擁護し、発展の主動権を掌握しなければならない。

節約優先の戦略実施に力を入れ、生産・消費の両方面から着手し、重点分野・単位の省エネプロジェクトの推進を加速し、省エネ発電調整弁法を普及させ、エネルギーの利用効率を高めることにより、比較的少ないエネルギー消費で経済社会の比較的速い発展を促進する。

---

<sup>1</sup> ゴチックは筆者。

当面、いくらかの**重大プロジェクト**を着工しなければならない。これは成長を安定させエネルギー保障能力を高める重要な措置であるのみならず、エネルギー構造を調整し発展方式を転換する有効な掴み所なのである。

国際的に最高の安全基準を採用し安全を確保する前提の下、**東部沿海地域に新たな原子力発電の重点プロジェクト建設を適時始動**しなければならない。生態保護と移民安置の基礎の上に、合理的な水力発電プロジェクトを秩序立てて着工する。風力エネルギー・太陽エネルギー発電基地とこれに付帯する送電プロジェクトの建設を強化する。

**遠距離に大容量の電力を輸送する技術を発展**させ、今年には計画に基づきいくらかの UHV（超超高圧）技術と伝統型技術を採用した「西電東送」（西部の電力を東部に輸送）ルートを建設し、資源配分を最適化し、エネルギーの消費低下・効率向上を促進しなければならない。

電気自動車等クリーンエネルギーの自動車の産業化を積極的に推進し、効率が高くクリーンな石炭焼き発電設備の許認可を加速し、省エネ・汚染物質排出削減基準に達していない現役の発電設備についてはグレードアップのための改造を断固として実施し、石炭の集中的な効率の高い利用によって粗放的な使用を代替することを促進し、**大気環境を保護**する。

エネルギー構造の調整のカギは、**エネルギー体制改革を推進**しなければならないということである。**競争的な業務を開放**し、各種投資主体がエネルギー開発分野の公平な競争に秩序立てて参入することを奨励する。消費に対する課税を積極的に推進し、**石炭資源税改革を深化**させる。

**電力体制改革の歩みを加速**し、需給双方の直接取引を推進し、更に経済的で質の優れた電力の保障を提供することにより、電力資源配分における市場の決定的役割を発揮させる。

我々のエネルギー装備は基礎・条件があり、価格・性能比も好いので、体制的条件を積極的に創造し、関連業務・サービスの整備に力を入れ、各方面の力の結集に努力し、**先進的なエネルギー技術装備の「海外進出」を推進**しなければならない。

#### （参考）

経済参考報 2014 年 4 月 21 日によれば、現在中国で稼働中の原子力発電所は 17 基、総容量は 1474 万キロワットである。これに建設中のものを合せると計 29 基、総容量は 3166 万キロワットとなり、2015 年前後に稼働する。2017 年に 5000 万キロワットの容量目標を達成するには、2014 年に少なくとも 4 基 100 万キロワット級のプロジェクトを着工しなければならない。現在の 100 万キロワットの原子力発電所の建設費が 150 億元であることから計算すると、投資は 600 億元に達する。

（4 月 25 日記）